

2022年

北海道地方 6月の天候

2022年7月5日
札幌管区気象台 気象防災部
地球環境・海洋課

概況

— 上旬はかなりの低温、オホーツク海側では記録的寡照も。下旬は記録的多雨。 —

オホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った空気の影響や、前線を伴った低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかったため、月降水量はかなり多かった。また、オホーツク海側の月間日照時間の平年比はかなり少なく、1946年の統計開始以降、6月として少ない方から第3位となった。

北海道地方：月平均気温は平年並、月降水量はかなり多く、月間日照時間は少なかった。

日本海側：月平均気温は平年並、月降水量はかなり多く、月間日照時間は平年並だった。

オホーツク海側：月平均気温は低く、月降水量はかなり多く、月間日照時間はかなり少なかった。

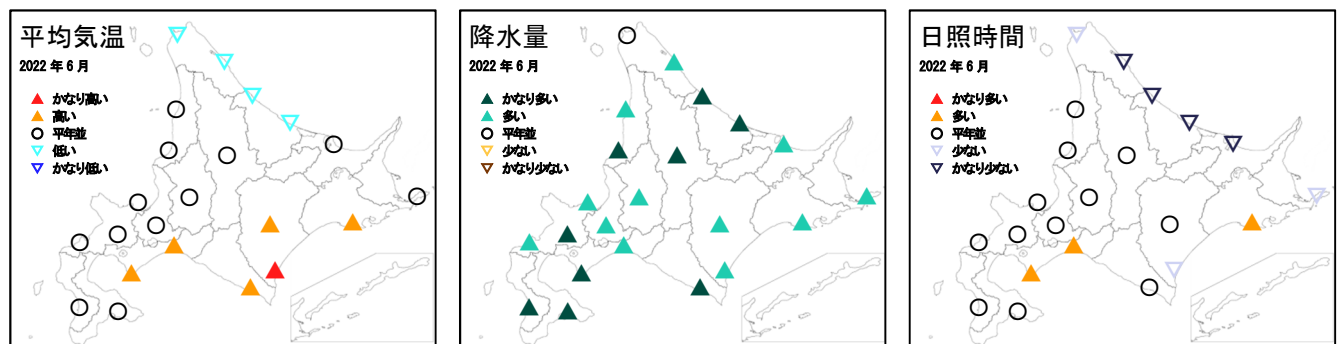
太平洋側：月平均気温は高く、月降水量はかなり多く、月間日照時間は平年並だった

上旬：オホーツク海高気圧から流れ込む冷たく湿った空気の影響を受けやすかったため、オホーツク海側と太平洋側東部では曇りや雨の日が多かった。特に、オホーツク海側の日照時間はかなり少なく、平年比は1961年の統計開始以降、6月上旬として少ない方から第1位の記録となった。一方、日本海側と太平洋側西部では晴れた日が多かった。気温はかなり低かった。

中旬：天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷、上空に寒気が流入した影響で大気の状態が不安定となり雨が降った日もあった。

下旬：低気圧や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多く、降水量はかなり多かった。北海道地方と日本海側の降水量の平年比は、1946年の統計開始以降、6月下旬として多い方から第1位の記録となった。特に24日および28日から29日にかけては、前線を伴った低気圧の影響で広い範囲で大雨となり、29日に今金で日降水量132.5mmを観測するなど多くの地点で6月としての日降水量の多い方からの極値を更新した。また、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため気温は高く、特に太平洋側の平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降、6月下旬として高い方から第2位の記録となった。

階級分布図



季節予報で用いる予報区分



月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	0.0	0	179	++	89	-
日本海側	-0.1	0	178	++	96	0
オホーツク海側	-1.1	-	175	++	58	--
太平洋側	+0.8	+	181	++	97	0

旬の統計値(地域平均)

上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-2.3	--	52	-	92	0
日本海側	-2.2	--	42	-	123	+
オホーツク海側	-4.3	--	105	0	15	--
太平洋側	-1.5	-	38	-	92	0

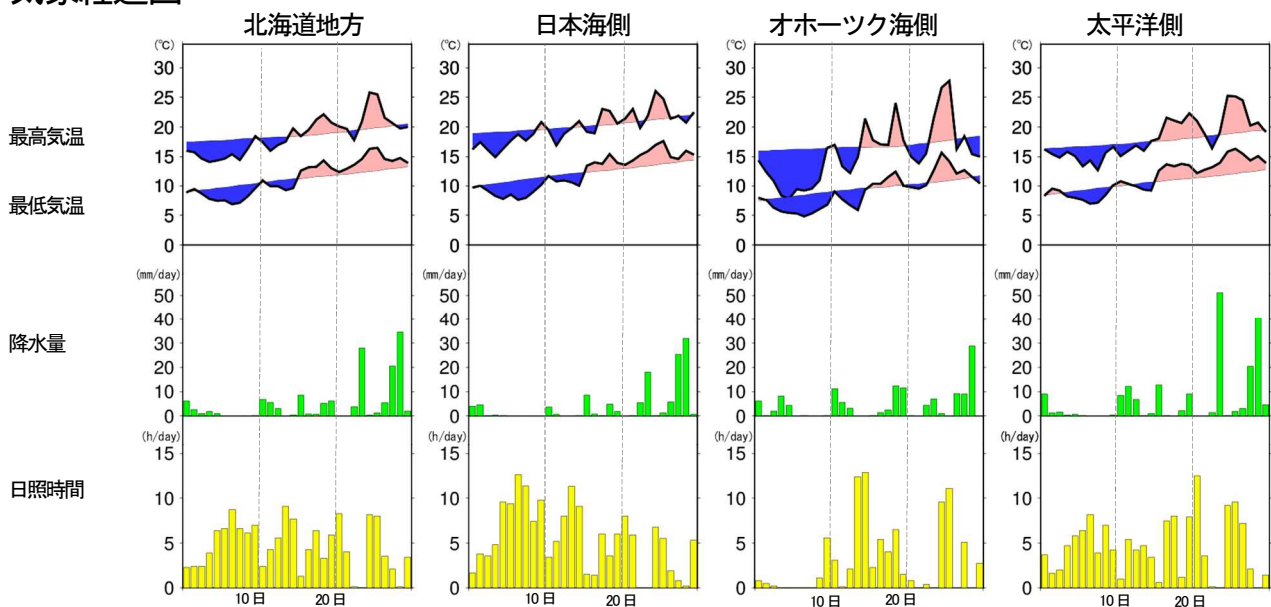
中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.5	0	113	+	103	0
日本海側	+0.2	0	83	0	104	0
オホーツク海側	0.0	0	169	+	103	0
太平洋側	+1.1	+	123	+	102	0

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.0	+	374	++	74	-
日本海側	+1.7	+	410	++	60	-
オホーツク海側	+1.1	+	238	++	59	-
太平洋側	+2.8	++	398	++	98	0

注) ・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991~2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

気象経過図



月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
稚内	12.1	-0.9	-	69.0	105	0	109.6	71	-
北見枝幸	11.1	-1.3	-	99.5	121	+	81.7	58	--
羽幌	15.4	-0.1	0	111.5	164	+	172.5	97	0
雄武	11.4	-0.9	-	176.5	236	++	86.9	60	--
留萌	15.4	0.0	0	98.5	175	++	174.9	101	0
旭川	16.8	-0.2	0	189.0	265	++	177.5	101	0
網走	12.5	-1.0	0	104.5	153	+	92.1	53	--
小樽	16.1	+0.1	0	62.0	112	+	168.3	99	0
札幌	16.8	-0.2	0	71.0	118	+	173.2	96	0
岩見沢	16.3	0.0	0	108.0	155	+	179.5	103	0
帯広	15.9	+0.7	+	110.0	136	+	129.5	87	0
釧路	13.5	+1.3	+	154.5	135	+	135.3	107	+
根室	11.3	+0.4	0	176.0	171	+	107.8	80	-
寿都	15.6	+0.2	0	114.0	188	+	160.1	94	0
室蘭	15.1	+0.7	+	206.5	189	++	176.9	114	+
苫小牧	14.6	+0.6	+	190.0	170	+	133.8	112	+
浦河	14.1	+0.6	+	272.5	284	++	138.6	96	0
江差	16.4	0.0	0	244.0	310	++	165.9	102	0
函館	16.6	+0.4	0	172.5	216	++	166.6	97	0
倶知安	15.6	0.0	0	113.5	189	++	159.0	94	0
紋別	11.8	-1.2	-	132.0	189	++	91.6	59	--
広尾	14.4	+1.7	++	220.0	147	+	107.2	85	-

注) ・平年値は1991～2020年の30年間の平均値です。

- ・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。
- ・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
6月	月降水量(多い)	第1位	旭川	189.0 mm	265 %	149.6 mm (1904)	1889
			江差	244.0 mm	310 %	229.4 mm (1956)	1941
		第2位	浦河	272.5 mm	284 %	273.0 mm (1974)	1927
	第3位	雄武	176.5 mm	236 %	186.9 mm (1967)	1942	
	月間日照時間(少ない)	第2位	網走	92.1 h	53 %	71.0 h (1983)	1904
	第3位	紋別	91.6 h	59 %	62.6 h (1993)	1956	

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 地球環境・海洋課
TEL (011) 611-6174